

独自安全ルールブック 理解度テストの実施

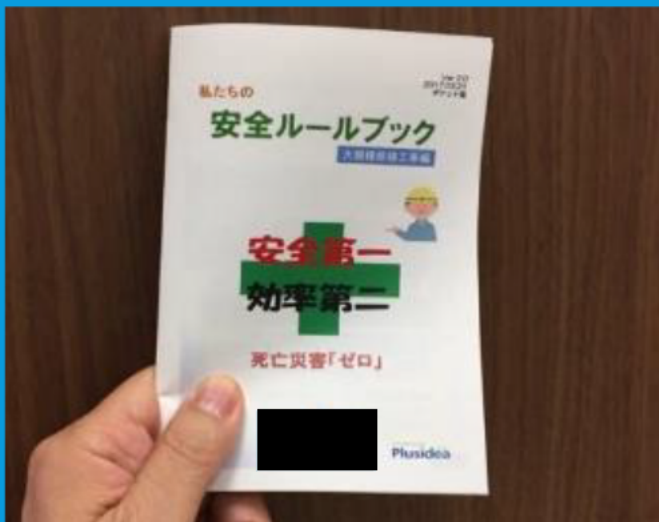
独自安全ルールブック

・ポケットサイズ（A6サイズ）

➡ 社員は全員携帯

・工事に関する安全ルールが記載

・法的ルールだけでなく、過去の災害やヒヤリハットより、随時ルールが追加



3. 足場組立ルール						
項目No.	カテゴリ	対象足場	安全ルール	ルール種別	重点項目	掲載ページ
			(作業所長が巡回の場合は現場責任者と読み替える) ※《下線》部は巻末に様票サンプル有り			
1		●●●●	足場作業は、「足場の組立等作業従事者特別教育修了者」（足場組立等作業主任者資格者等を含む）が実施し、未修了者は作業（材料運搬・整理を含む）のために足場（高さに係らず）に上らせてはならない。未修了者には識別表示をさせること。	法59 則36	劣	
2		●●●●	作業主任者指揮下で、適切な人員配置で作業を行うこと。人員不足の時は原則作業中止とする。	則566	重	
3		〃〃〃〃	ゴンドラ架設作業はゴンドラ取扱い業務特別教育修了者の指揮下で行うこと。	ゴ12		
4		●●●●	18歳未満の年少者は、高さ5m以上の高所での作業および組立・解体・変更の作業を禁止とする。（地上の補助作業を除く）	少8- 24 25		
5	作業前	●●●●	高工（相番作業員を含む）はフルハーネス型命綱（墜落制止用器具）の着用・使用を必須とする。（二丁掛けを推奨）		内	重劣
6		●●●●	携帯工具類は全て落下防止措置（ストラップ等使用）を行い、インパクトレンチはソケットの脱着防止措置を行うこと。		内	重線
7		●●●●	原則、手摺先行工法・親綱（径16mm以上）併用とし、親綱は5スパン以内で緊張器により弛まないよう張ること。手摺先行工法は種類毎にメーカーの注意事項に従うこと。		内	重
8		●●●●	作業時は必ず誘導員を配置し、居住者・第三者の誘導を最優先とすること。		内	
9		●●●●	作業エリア（地上含む）は足場作業員以外は、人（居住者・第三者・他作業員）・物（車・自転車・バイク等）問わず原則立入・設置禁止とし、区画・表示を徹底する等、災害防止対策をとること。		内	重線
10	揚重・小運搬	●●●●	玉掛け作業、クレーン作業、巻上げ機作業等資格が必要な作業は、有資格者を配置すること。	ク67 221 222		
10 1	小運搬	●●●●	玉掛け（揚重機を使用しない、ロープ下しも含む）作業者は、有資格者（玉掛け技能講習または玉掛け特別教育の修了者）に限定し、識別腕章を着用すること。		内	重線

※一部抜粋

理解度テストの実施

- ・ 年4回実施
- ・ 対象：工事に関わる全社員（約600名）
- ・ 問題形式：ランダム出題 全10問（○×式）
- ・ 修了基準：10点満点（修了するまで繰り返し受験）

※テスト画面

※ベース問題数：25～30問

うち新規・入替問題：2～5問

第17回安全ルールブック理解度確認テスト - 受験 2	
1 得点: 1	墜落防止設備（手摺・柵・ネット等）を一時的に外す場合は、現場責任者はテープ・表示等で立入禁止措置をした上で簡易図面に記録し、作業所長は確認後、日報に添付した上で許可をする。作業完了次第または作業場所から離れる前に都度復旧し、作業所長へ報告すること。
答え:	<input type="radio"/> ○ <input type="radio"/> ×
2 得点: 1	天板の上に、乗らない、立たない、座らない、またがないこと。天板に注意喚起用ステッカーを貼ること。（トラテープのみの貼付けでも可）
答え:	<input type="radio"/> ○ <input type="radio"/> ×
3 得点: 1	作業所長は、法令に規定されているSDS交付義務のある化学物質含有材料の使用に際しては、該当SDSを基に作業開始前までにリスクアセスメントを実施し、結果を周知させること。なお作業所長は事前にリスクアセスメントに関する研修を受講しておくこと。
答え:	<input type="radio"/> ○ <input type="radio"/> ×

テスト結果のフィードバック

- ・ 対象者全員：10点満点 ※全テスト
- ・ 初回平均点の開示
- ・ 正答率の低かった問題ワースト3の問題と解答の開示
- ・ まとめと対策

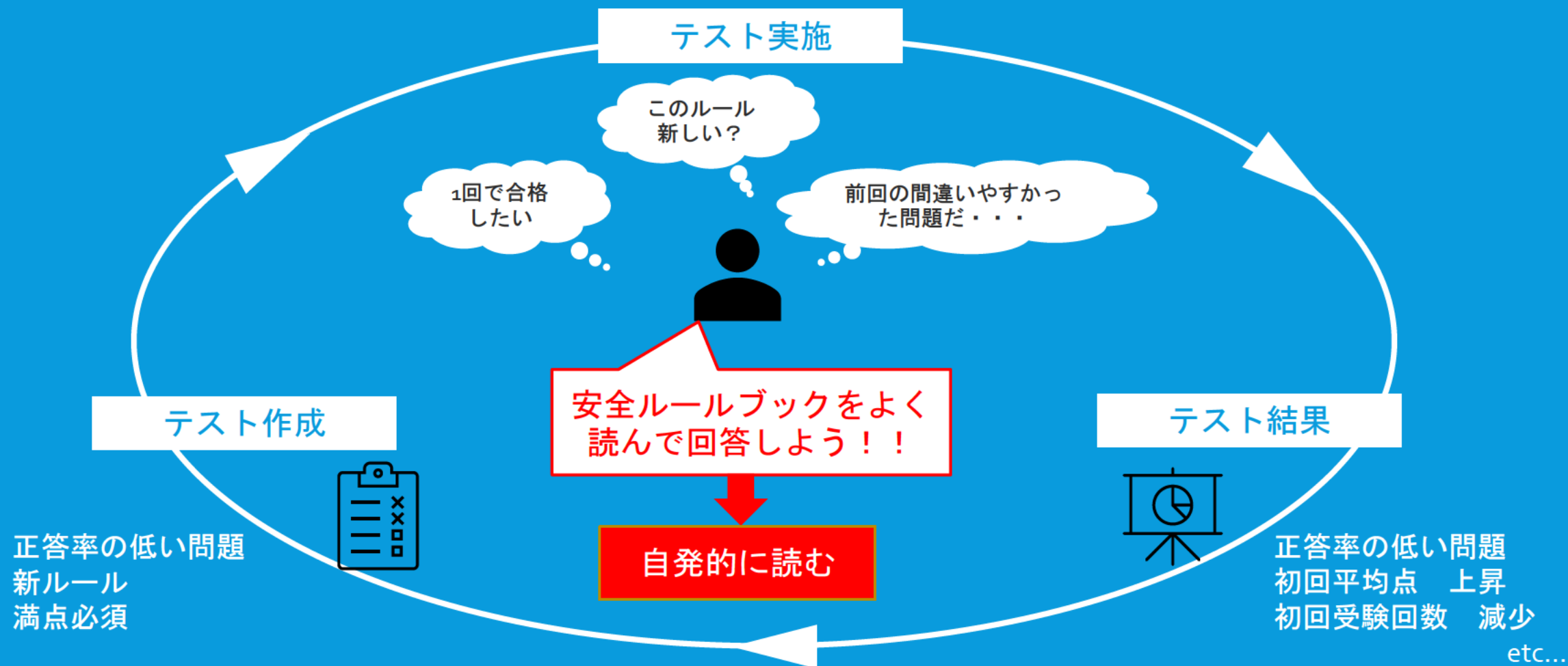
◆ まとめ&対策							
前回までのテストと比較して以下の傾向が見られました。							
項目	傾向	第12回	第13回	第14回	第15回	第16回	第17回
◆問題別の初回平均正答率推移	改善	91%	94%	93%	93%	92%	94%
◆ワースト5の正答率平均推移	改善	75%	84%	80%	80%	78%	83%
◆合格までの平均受験回数	減少	1.9回	1.6回	1.7回	1.6回	1.7回	1.5回
◆合格までの平均所要時間	減少	16分	16分	16分	16分	19分	15分
◆受験者別の初回平均点推移	改善	9.37点	9.57点	9.47点	9.48点	9.42点	9.59点

直近の改定および発生災害の該当ルールを中心に受験しましたが、テスト結果は上記の通り、下降気味だった前回から一転、改善の傾向がみられ、正答率は過去最高レベルでした。

特に、合格までの受験回数と所要時間の減少から、1回目での合格への取り組みが、かなり浸透してきたことが見受けられます。

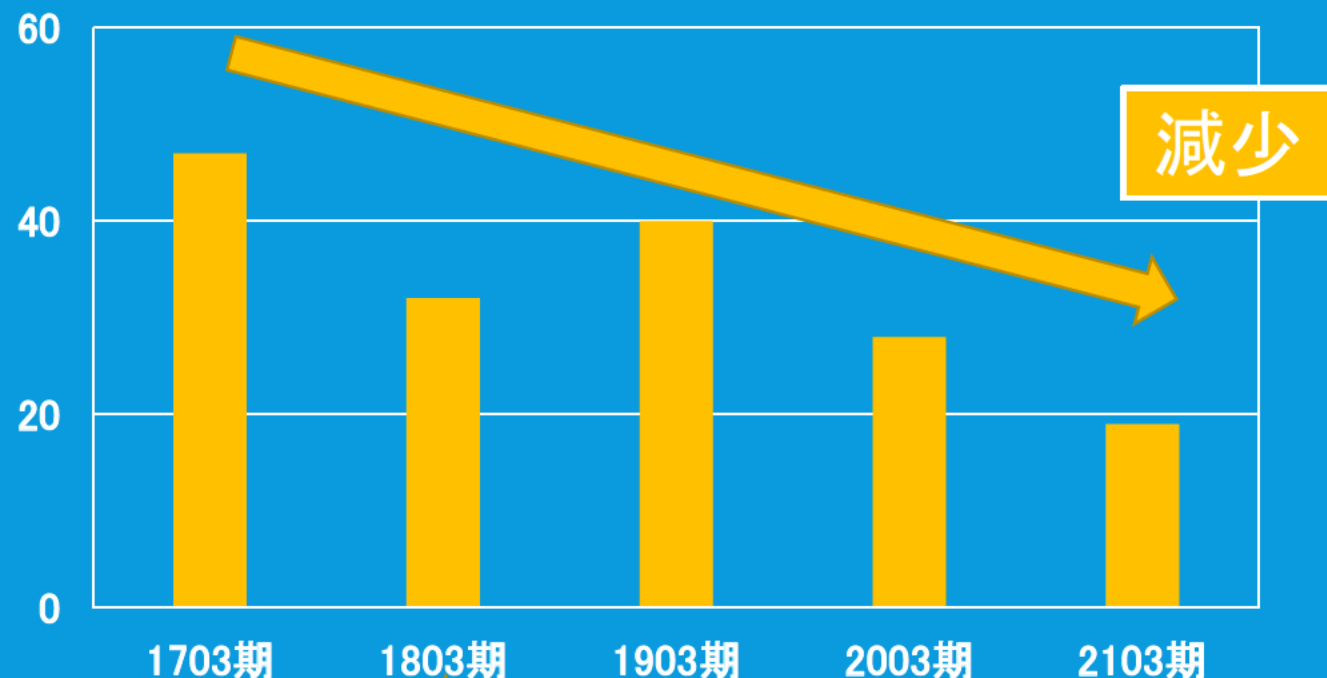
※前回実施時のまとめ

テストによる効果（1）



テストによる効果（2）

災害発生件数



2017.7よりテスト開始

※現在も、年4回実施中

- ・ 2017.7より、第1回目のテスト実施
- ・ それ以降も年4回のテストを実施しており、現在17回目実施済



災害件数 **減少**